

香取市地域公共交通協議会 (第 49 回協議会資料)

目 次

議題 1 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

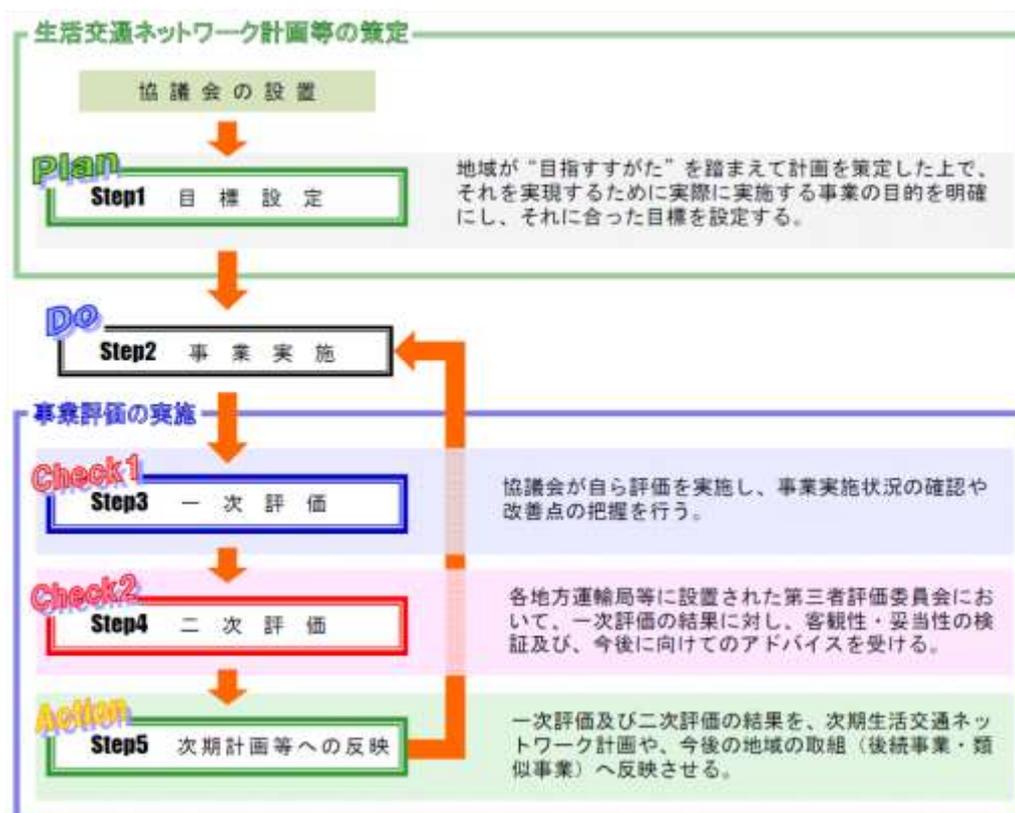
議題 1 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業は、地域公共交通の確保・維持を図るとともに、地域公共交通の改善に向けた取組を国が支援する制度であるが、これらの取組は一過性のものではなく、継続的な実施が求められている。地域が実施した事業の内容を振り返って、目標の達成状況などを評価・分析し、次の取組に反映していくという継続的な取組が重要なことから、国土交通省では、それらの取組を「事業評価」として制度化している。

なお、令和4年度事業期間は、令和3年10月から令和4年9月となる。

(1) 評価対象事業 地域内フィーダー系統確保維持事業

(2) 事業評価の流れ



(3) 評価項目

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価については、「地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価実施細目」に定められた様式に基づいて評価を行う。

●資料 別添1参照

令和4年度計画の事業評価

1. 小見川循環バス（現：香取市循環バス小見川ルート）

（1）概要

事業者名：千葉交通株式会社

運行系統：高萩経由（30.8 km）、城山公園経由（5.1 km）
計 35.9 km

運行日：月曜～金曜

（土・日曜日、祝日、振替休日、年末年始運休）

運行時間帯：6時30分～18時35分

運行本数：9便／日

運行車両：日野ポンチョ（乗車定員33名） 1台

運賃：大人300円、中高生100円、小学生以下無料

障害者手帳所持者100円、障害者手帳所持者（中高生）無料

割引制度：回数乗車券12枚綴り1,000円

1日フリー乗車券大人600円、中高生200円



※令和3年10月1日より、高萩経由1便削減と高萩地区への延伸、
障害者手帳所持者（大人）の運賃変更（無料⇒100円）

（2）目標の設定

【目標1】小見川循環バス：年間利用者数 12,000人

【目標2】小見川循環バス：収支率 16.9%以上

小見川循環バスは、直近の令和2年度ではなく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない、令和元年度実績の利用実績及び利用者推移、委託料、運賃収入から目標値を設定した。

（3）目標の達成状況

【実績1】小見川循環バス：年間利用者数 12,728人【達成】

【実績2】小見川循環バス：収支率 14.0%【未達成】

(4) 利用状況

資料別紙 1、2 参照

(5) 考察

小見川循環バスは、利用者が 12,728 人であり、前年度実績 12,025 人から 703 人(5.8%)増加し、目標値 12,000 人を 728 人越え、目標を達成した。

収支率は 14.0%であり、前年度実績 14.2%から 0.2%下回り、目標値 16.9%以上には及ばず未達成であった。

高萩経由は、利用者が 2,423 人であり、前年度実績 3,796 人から 1,373 人(36.2%)減少した。(※主な利用者属性が高齢者であるため、新型コロナウイルス感染症のまん延により、外出を控えたことが未達成の要因と推察される。)

城山公園経由は、利用者が 10,305 人であり、前年度実績 8,229 人から 2,076 人(25.2%)増加した。主な利用者属性が通学の高校生であるため、コロナ禍においても利用が堅調であったことが増加の要因と推察される。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年事業の 7,439 人と比較しても 2,866 人(38.5%)増加している。令和 2 年 10 月の小見川高校前への延伸後、利用促進事業が一定の効果を上げていると思料される。



生活路線である小見川循環バスが運行され、高校生や高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保・維持されている。

(6) 改善点

通学利用以外の利用者を取り込むため、移動に先立つ目的を作るための施策を検討する。

高萩経由は、大型商業施設を経由する路線であるため、商業施設等と連携した購入額割引措置等の利用促進策を検討し、買い物等目的利用者層の利用確保に取り組む必要がある。

城山経由は通学利用がメインとする路線のため、鉄道駅等との乗継を意識したダイヤ編成とするとともに、引き続き、沿線の学校への周知チラシ配布等を実施し利用促進に努める。

2. 小見川乗合タクシー（香取市乗合タクシー）

（1）概要

事業者名：京成タクシー成田株式会社
運行区域：小見川中央・東・南地区
運行日：月曜～金曜
（土・日曜日、祝日、年末年始運休）
運行時間帯：8時～17時
運行本数：9便／日
運行車両：トヨタコンフォート（乗車定員5名）2台
運賃：大人600円、中高生300円、小学生以下無料
障害者手帳所持者300円、介助者300円
割引制度：回数乗車券1冊3,000円（300円×12枚）



※令和3年4月1日より、運賃改定

（2）目標の設定

【目標1】小見川乗合タクシー：年間利用者数 6,400人

【目標2】小見川乗合タクシー：収支率 16.4%以上

小見川乗合タクシーは、直近の令和2年度ではなく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない、令和元年度実績の利用実績及び利用者推移、委託料、運賃収入から目標値を設定した。

（3）目標の達成状況

【実績1】小見川乗合タクシー：年間利用者数 6,777人【達成】

【実績2】小見川乗合タクシー：収支率 20.0%【達成】

(4) 利用状況

資料別紙3、4参照

(5) 考察

利用者数は6,777人であり、前年度実績6,426人から351人(5.5%)増加し、目標値6,400人を377人越え、目標を達成した。

主な利用者属性が高齢者であるため、制度周知を重視した結果、一定程度の効果が表れたと考えられる。

収支率は20.0%であり、前年度実績15.9%から4.1%改善され、目標値16.4%以上を達成した。

令和3年4月からの運賃改定及び利用者の増加により、運賃収入が増加したことが達成の要因と推察される。



小見川地区に存在する交通不便地域の一部が解消され、高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保・維持された。

(6) 改善点

1便あたりの平均乗車人数(乗合人数)が2人未満であることから、利用実態に合わせた運行便数の最適化を検討する必要がある。